

## 「名古屋の観光推進を考える研究会」スタート

タイトルの研究会がスタートして、その座長を務めることになった。どうも審議会のような場は、「初めに結論ありき」の場合が多く、あまり好きでない。もっとも私のような「辛口コメンテーター」には、めったにお呼びがかからないが。

今回「名古屋の観光推進を考える会」の委員を依頼されたのは、ここ3年余り、大学で「名古屋の観光」研究プロジェクトを主宰してきたことによる。人気の総合科目「名古屋の歴史・文化・まちづくりと観光」のコーディネーターを努め、社会調査実習で学生と一緒に観光を調査してきた。昨年12月には中区役所ホールに300人の聴衆を集めて「名古屋の観光まちづくり」シンポジウムも開催した。こうした「成果」が市役所サイド、とりわけ市民経済局から認められたと勝手に考え、委員を引き受けることにした。

6月12日に開催された第1回会合では、「慣れない座長だが、結論ありきの型どおりの会議ではなく、自由に議論、発言し、勉強の場にもしていきながら進めていきたいと思う」と座長就任の言葉を述べた。

委員は旅行業協会、ホテル協会、広告業界、商工会議所など、観光に直接かかわる専門家と研究者で構成されている。事務局の名古屋市からの資料とともに、専門の立



場からの意見・情報からも多くのことを学ぶことができる。

7月10日開催の第2回会合では、第1回で提起されたターゲットを絞る、マーケティングに力を入れる、広域観光を推進する、名古屋のブランドイメージを作る、

受け入れ態勢の整備を図る、組織体制の整備を図る、といった6点を中心に意見交換を行った。なんとか議論を方向づけ、時間通りに会議を終えることができ、座長としての「面目」を保つことができた。

(2008年7月15日 記)